【里地里山学特別講座】

隣の国（韓国）のラムサール条約湿地！

「湿地の生きもの」を「人」はどう利用してきた？
食べる、採る、使う――。
「湿地の生きもの」と「人」との暮らしをたどります。



講師



Gea Jae Joo 氏
釜山大学 名誉教授

淡水・河川生態学および湿地の保全・ワイズユースを専門とする韓国を代表する湿地研究者。1993年より釜山大学で研究・教育に従事し、韓国国内の水域・湿地生態系について長年にわたり研究を行ってきた。ラムサール条約に関する韓国政府代表・主要アドバイザーを務め、2008年の第10回ラムサール条約締約国会議（COP10）の韓国・昌原開催や「昌原宣言」の策定などに重要な役割を果たした。2015年、湿地保全・ワイズユース、研究、教育、国際協力への長年の功績が認められ、ラムサール湿地保全賞を韓国人として初めて受賞。また、ラムサール条約東アジア地域センターの設立にも貢献し、同センターの名誉センター長を務める。2025年の定年退職後は釜山大学名誉教授として研究活動を継続している。2026年8月より、洛東江大統領委員会の委員長を務めている。



韓国（釜山）で越冬するオオハクチョウ（photo:Gae Jae Joo 氏）

2026年 11月23日 月・祝

時間 13:30-15:30

場所 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ
山形県鶴岡市馬町字駒繋3-1

定員 30人

主催 ラムサールセンター

共催 庄内自然博物園構想推進協議会

講演会は逐語通訳有

コーディネーター



岩﨑 慎平 氏
ラムサールセンター事務局長
福岡女子大学准教授

申込 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ
TEL：0235-33-8693　E-mail：info@hotoria-tsuruoka.jp
お電話、メールもしくは右のQRコードを読み取り申込フォームからお申し込み下さい。

本事業は、経団連自然保護基金の助成を受けて実施しています。